ヒアリング内容の決定から決めることにする

10分で決める

ヒヤリングと業務のモデル化、フロー化、必要なデータの書き出し

システム概要、一覧、エラー時の処理を本日話し合う

午前中にヒヤリング内容を決めてしまう

ヒヤリング後から15時ぐらいまでシステム概要、それ以降をシステム要件

サンプルを見ながら進めるのがいい

いつまでにやるかも意識しながら進める

【ヒヤリング内容決定の流れ】

議事録のジャンル分け

皆ポジティブだった

何を改善すればいいのか見えない

他のグループは、受講者・運営

チャットツールを作るのは大変だと聞いて何を作ればいいのか分からなくなった。

プロフィール、顔も認識できない

テラコに自分たちの顔が表示されれば名前が分からないという問題は解決できそう

簡単なプロフィールは運営側に見れたほうがいい

気になる回答は？

メンタル面

匿名で、どういう不安を抱えているのか発信、メッセージを送るだけ（フォームの機能で）

ズームを監視する人をはぶけないか

定期的に入力しないといけない、リアクションしないといけないシステム

受講者側は面倒？

講義中に理解度が出てくるといいな

何分以内に返事しないといけないという既往

全体の理解度が低いと調整もできる

段階と時間の制限

一つのアプリ

プロフィールも付ける

長期的な理解

理解が変化したら都度変えれる

その日の理解度を記録しておいて…

質問が思ったよりおしてしまった

運営側の事情は理解できた…

メインの機能を決める

今までの話の内容はオプションを決めていたような感じ

何に今の機能が付くのか？

全体的にその人の理解が図れるアプリを作成する

オンラインワードドキュメントにて要件定義所を作成する

タイトルはどうするか

講師や受講者の状況把握

質問が気軽にできる・緊急性があるかどうか

コミュニケーションツール

の３つキーワードに分けれるのでは？

これは背景

生徒管理システム、生徒監視システム（仮）

少し怖い？

まずはシステムの目的をドキュメントに書き起こす

全体像と開発方針にはそのままコピペ

今回作成するものは講師側が使用するアプリ？

生徒側も一緒に、理解度を報告することで講師とより親密に

アカウントを登録する（講師側と生徒側）

受講者一覧

講師と受講者で見れるものが違う

サーブレットもJSPも膨大な量になりそう

やりがいしかない！

開発背景はどんな感じか？

先にシステム要件を決めていこう

＞一戸講師にいったん共有で見てもらう

マリアDBかMYSQLで作成してほしい

オープンソースの世界ではマリアDB

やり方は全然違わないので、H2はやめたほうがいいと思う

ファイル式でトラブルも増える

MYSQLを削除する手間がある

コネクタをダウンロードし、ビルドパスに追加すればいい

目的の2行目まではいいが残りが弱い、分かりにくい

何ができるようになるかを書けばいい

日報の講師がスタンプを付けたりするのは目的外？

日報は外れる…

余裕があれば日報…

テラコとの位置付けが難しい

機能要件には何の機能があるか

1時間おきなどの何かしらの区切りにて反応できるよう

クイズ機能

クイズによって理解度を確認する

クイズや質問機能は理解度記録に含まれる

サンプルは細かく分けているイメージ

プロフィールはHTML

アカウント、講師側と受講者側、DBの構築

クイズと質問はいったん置いておいたほうがいいのでは？

プロフィールはなくてもいい

最悪ないといけないのはアカウント管理

最低ないといけないもの

リアクションボタン

理解度記録・更新機能（クイズ機能、質問機能）

アカウント管理機能（受講者と講師で分ける）

プロフィール登録機能

プロフィール管理大変

講師側と受講者訳大変そう

ログイン前に講師と受講者を分けて

nullかどうかの判定時に受講者か講師化の判定もする

講師の方はプロフィール登録いらない

講師は共通のIDとパスワードでもいい

理解度記録はプロフィールに含めるのか？

SQLであったIDで結合するやつ…

理解度は別のDBに

報告した人のIDとどのかてどりー、どの段階IDに対して生徒のIDと照合可能にする

理解度自体のIDとは報告した生徒のIDと

プロフィールには何を書くか

目的としては本人を理解するためのもの

履歴のにあるようなものを

特技、趣味、学部、学校、自己PRと、顔写真も入れる

得意不得意が分かりやすい

情報量が多くても大変になってしまう

経験者未経験者で初め分けておいて経験者だけ書く欄を設ける

ツイッターのように自分から発信するのか？

リアクションページを作成

ホームにおいてもいいかも

ログインした後にユーザはどの画面を見るのか？

問題を表示させるのは難しい

講師がリアクションするとページが切り替わる

講師側が打ち込んだ内容を生徒側の反応ページに反映させる

一定の時間が過ぎたら画面から消える

インスタのストーリの時間制限が結構使えそう

大変そうなのは講師側から強制的にページを変えるところ

最悪ボタンだけおいといて口頭で言ったことに対してボタンを押して

その時の時間で判断する

これは現実的な気がする

常に下に表示させておくのもいい

リアルタイムで理解度を示そう

講師側と生徒を分けるとして

リアルタイムは大変　できるのは当然できる（JavaScript）

新入社員で実装しているチームはいくつもある

どうだったら面白いか

なるほど　わからない　ボタン

1分間に何回押されたか集計するプログラムを作ったグループもあった

矢沢講師の来るぞ来るぞよっしゃー！

講師の背景から音声が流れるシステム

ボタンが押された数を集計。

反応の回数によって音声が変わる。

ゲーム的な意味で、もともと2つしか使えないものが、たくさん反応すると反応の選択肢が増えるようにする

連打　集計が多かったら音声が強いのに変わる

メインはリアクションボタン

矢沢講師要素を入れたい

音声もできたらもらいたい

理解度報告の3つみたいに3つ入れたほうがいいのでは？

連打の機能を入れるなら、押した回数で度合いを分かるようにする

回数によって反応が変わる

5段階くらいで理解度が分かったほうが嬉しい

分からないボタンを５回押したら全然わからない

分かるボタンを5回で矢沢講師

笑うボタンつけたほうがいい

英検3級ボタンも必要では？

いつ押すのか？

アカウント管理は新規ユーザの登録、編集、講師側から確認

理解度の反応ボタンを押したときのデータを短時間の間に何回押したかは一つにまとめていい

関数もキープ

それが更新さえrなかったら、その日の最終的な理解度として保持する

それをユーザのIDにひもずけ

後日更新したい場合は更新可能

理解度を講師が見て使えるようにするには細かく分ける必要がある

各項目にコメントを付けて保存に何に対しての理解度なのか分かるようにする

カテゴリー分けまですると結構なボリュームになってしまう

ログインなどは名刺管理アプリと変わらないのでできそう

ボタンをおした回数、音声、チャットに近い機能でリアルタイムに反応して記録、

今日何割分かったか講師に送るようにして次の日に約立てる

テラコの理解度もあるから…

テラコにない機能を

その場の理解度が全体の理解度となってしまうと個人の理解度まで把握できない

ボタンだけだと何を理解していないのか分からない

何かしら分けたほうがいい

オプションとして文字も送れるようにする

匿名じゃないと押さない人がいる

先生には個人名が見えて、表向きは匿名にする

各個人が分からないと思ったタイミングで押せる（匿名で）

押されたタイミングで何が理解できていないか見当は付きそう

ボタンの押した回数、プロフィールの入力数に応じて使えるボタンが増える。

理解度記録の処理内容は何を書けばいいか？

今回は保留

〇今日のヒアリングの内容の話し合い

・1時間ヒアリングがある

・講師側と営業の人と分ける

・悩みは何か引き出しやすいように質問を考える

・分類して話す

・講師向け10分、営業10分

・ストレス

・リアクションしづらいからリアクションの音に関すること

・対面のどんな反応がうれしかったか

・ヒアリング項目

・オンライン研修になって不便になった点

・場所についての不満

・他の人の質問をアイデアにする

・ある程度は用意

・10分ヒアリングの内容

・重点的に聞くのを絞る

・ヒアリングからのシステム内容

・10個くらい質問を考える

〇講師や事務局へ質問

・営業がやりにくい

・コロナの時期に入ったから、今までの営業スタイルは使えない

・ITに限らず、9割ビジネスチャット

・ある程度システムを想定しているチームが多い

・受講者からの反応はオンライン研修で大きく変わった

・一人ひとりの状況把握はオンラインの方がいい

・集合だとみんながフォローしちゃうからわからなくなる

・オンラインの方が個人の部分からレベルアップ

・コミュニケーションが大切

・音声が出るリアクション機能

・チャット

・インスタみたいなストーリー機能

・データを残す期限を付ける

・データが重くならない

・ストーリーに質問書いて回答してくれる

・反応についてと研修での変化について

・10分考えて5分で貼り付け

・日報や理解度報告以外でどれくらいできているかわかる

・リアルタイムで表情見て受講者が理解できているかどうかわかるか

・わからないなら、講師側から質問を送れる

・送られてきた受講者が5段階くらいで送れる機能とか

・リアルタイムで受講者の理解度を確認できているか

・受講者の成績

・契約した企業に成績、成果物を総合して伝える

・受講者の反応

・理解度チェックでわかりやすくなった

・研修室に集まったら講師が回って手が止まっていると気付いていた

・オンラインでも確認できるようにして理解度把握につながった

・受講者の把握

・メンタル面が心配

・止まると運営が気付けない

・TERACOのシステムは機能重視

・どれだけ必要な情報が入っているかが重要

・スラックとTERACOをなぜ分けているのか

・チャットは作るのが大変なので、サービスを頼んだ方がいい

・受講者が寝てそうだけどうまく指摘できない

・グレーなら、チャットを送り、10分返信がないなら寝ていると判断

・研修を受ける受講態度、精神面は講師に任せている

・全体の理解度ボタン

・全体の把握はしやすくなった

・データで管理できるようになった

・理解度はデータとしてとれた

・オンラインになって顔と名前が覚えづらくなった

・最初のレベルをわかっておいた方がいい

・プロフィールがあると嬉しい

・文系か、理系なのか、体育系なのかを知りたい

・どんな項目があったら嬉しいか

・部活、趣味、好きなもの、性格のタイプ

・自己紹介、血液型

・プロフィールや顔が認識できない

・TERACOに顔が載っていたら名前が覚えられない問題は解決

〇ヒアリングからテーマ決め

・相談を匿名で送れる

・メッセージを送るだけならフォームでできそう

・定期的に入力しないといけない

・反応しなければいけない画面

・リアクションして押していない人がいたらわかる

・受講者側は面倒くさいけれど講義中に理解度が出てくる

・何分以内に回答

・聞いた話を理解しているか

・リアルタイムにわかれば、講師は休憩中に進捗の調整可能

・リアルタイムで全体の理解度を何段階かに分ける

・そこだけだと難しくなさそう

・プロフィールを登録

・個々の理解が後から変化したらボタンを変えられる

・カリキュラムごとにその日の終了の理解度を記録

・理解度確認

・メインの機能を決める

・質問は追加機能

・講師と受講者の状況把握

・質問が気軽にできる

・質問を大中小にわける

・コミュニケーションツール

・生徒管理システム、生徒監視システム

・受講者の状況把握

・長期的な理解度の更新

・全体像と開発方針

・講師側には受講者一覧が必要

・講師と受講者で別の画面

・システム要件を大まかに書いて見せる

・リアクション

・プロフィール

・顔写真

・プログラミング経験、未経験

・リアクションボタンはどこにつけるのか

・リアクションボタンページ

・メインページにおいてもいい

・ログイン後にどこのページに行くのか

・リアルタイムで理解度がわかるものをつくろう

・講師側と受講者側で分ける

・リアルタイムで理解度がわかる仕組みは大変

・JavaScriptを使えばできる

・講義の途中にボタンを押す

・なるほどボタン

・わからないボタン

・矢澤講師の「キター」ボタン

・連打できる仕組み

・音声が流れる

・連打の回数を集計する

・多く連打したら強い音声に変わるなど

・たくさん押すと矢澤講師の声にできるとか

・理解度ボタンの種類はある程度出す

・矢澤講師の要素を入れたい

・音声を送ってもらう

・笑うボタン

・拍手ボタン

・英検3級ボタン

・新規ユーザー登録とアカウントの消去

・編集

・名刺管理アプリに近い機能

・理解度の記録と更新

・リアクションボタンか質問、クイズ機能の結果で決めるのか

・TERACOに書かれていない内容でつくる

・その場の理解度がリアルタイムでわかる

・最終的な理解度はTERACOに任せる

・匿名じゃないとボタンを押さない人がいる

・集計してみんなが見えるのは匿名

・先生は実名でわかる

・ボタンを押した回数で種類が増える

・モチベーションが上がる

・矢澤講師の音声を使いたいから